

みずほCustomer Desk Report 2016/04/20号(As of 2016/04/19)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値	109.08
TKY 9:00AM	109.08	1.1308	123.34	0.9647	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	109.49	1.1385	124.43	0.9649	1.4290	0.7769
SYD-NY Low	108.75	1.1304	123.13	0.9584	1.4420	0.7827
NY 5:00 PM	109.21	1.1357	124.06	0.9618	1.4271	0.7747
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.59/11.04	△25RR	1.298	Yen Call Over		
NY DOW	18,053.60	49.44	債券市場	日本2年債	-0.2640	▲1.3bp
NASDAQ	4,940.33	▲19.69		日本10年債	-0.1230	▲1.3bp
S&P	2,100.80	6.46		米国2年債	0.7574	1.6bp
日経平均	16,874.44	598.49		米国5年債	1.2516	2.3bp
TOPIX	1,363.03	42.88		米国10年債	1.7851	1.4bp
シカゴ日経先物	17,065	375.00		独10年債	0.1690	0.8bp
ロンドンFT	6,405.35	51.83		英10年債	1.5080	3.0bp
DAX	10,349.59	229.28		豪10年債	2.5560	6.3bp
ハンセン指数	21,436.21	274.71	為替市況	USD/CNH	6.4686	▲0.0155
上海総合	3,042.82	9.16		ドルインデックス	94.11	▲0.38
USDJPY 3M Vol	10.70	▲0.48%	商品市況	CRB指数	177.923	3.81
USDJPY 6M Vol	10.54	▲0.32%		NY金	1,254.300	19.30
EURJPY 3M Vol	11.32	▲0.50%		WTI	41.080	1.30
EURJPY 6M Vol	11.02	▲0.45%		Dubai Spot	39.38	1.55

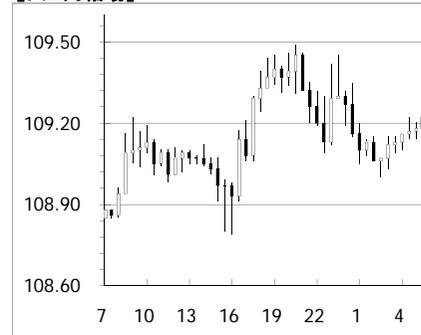
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月19日	8:00	米 ローゼン格林・ボストン連銀総裁講演	-	-
	10:30	豪 RBA理事会議事録(4月5日開催分)	-	-
	17:00	欧 経常収支(季節調済)	2月	19.0B
	18:00	独 ZEW現況/期待指数	4月	47.7/11.2
	21:30	米 住宅着工件数	3月	1089K
	21:30	米 建設許可件数	3月	1086K
	22:30	豪 スティーブンスRBA総裁講演	-	-
	23:35	英 カーニーBOE総裁議会証言	-	-

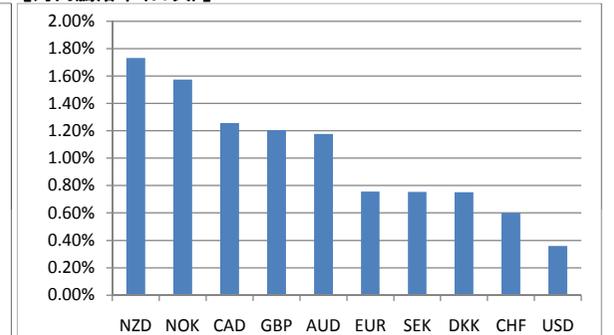
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回	
4月20日	8:50	日 貿易収支	3月	¥834.6B	¥2422B
	17:30	英 ILO失業率	2月	5.1%	5.1%
	19:00	欧 ドラギECB総裁挨拶	-	-	-
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-	-	10.0%
	23:00	米 中古住宅販売件数	3月	5.28M	5.08M

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	108.60-109.60	1.1310-1.1410	123.50-124.50

【マーケット・インプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は小幅に上昇。堅調に推移した欧米株式に加え、クウェート石油労働者組合のストライキ等を受けた原油先物価格の上昇を材料にドル円相場は水準を切り上げた。本日のドル円相場はやや下落バイアスのかかった揉み合い推移を予想。来週のFOMCや日銀金融政策決定会合を控えて一方的な相場変動は期待し難く、上下双方方向ともに値幅は限定的となろう。特にFOMC関連では昨日東京時間のローゼン格林・ボストン総裁講演を最後にFED高官等はブラックアウト期間に入っており、相場変動の切っ掛けは限定される事となる。一方、本日早朝にはクウェート石油労働者組合はストライキ終了を発表。原油先物市場における売り戻しを誘発する可能性も考えられ、原油先物価格下落を切っ掛けとしたリスクセンチメント後退には注意を払いたい。

東京	東京時間オープン前にローゼン格林・ボストン連銀総裁の「FRBは市場の予想よりも早いペースで利上げ」などの効派発言が伝わったことや、WSJが黒田日銀総裁の「為替動向を引き続き注視。物価目標に必要な追加緩和を実施」とのコメントを報じたことで、前日海外時間に一旦止められていた109円を上抜けし、109.16まで上昇。かかる中、東京時間のドル円は109.08レベルでオープン。前日の反動から300円超上昇して寄り付いた日経平均株価が、その後も上げ幅を拡大する動きにドル円は一時109.23を付ける場面が見られたものの、さらなる上値追いの展開とはならず109円台前半で揉み合い推移。午後に入り、引き続き動きづらい状況が続くも、次第に上値の重さが意識されると、再び109円を割り込んで108.96レベルで海外市場に渡った。豪ドルは0.7769レベルで東京時間オープン。その後発表されたRBA理事会議事録の影響は限定的であったが、午後に入り原油価格が上昇する流れとなると、豪ドルは0.7800手前まで続伸し、0.7792レベルで海外時間に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は全体的な円売りにより109円台前半まで上昇。朝方は108.96レベルでオープン。アジア株の堅調な流れを受け続いた欧州株がプラス圏で推移する中、クロス円を中心に円が全体的に売られる展開となった。熊本県で震度5の余震があったものの、市場の反応は限定的となり、ドル円は109円台前半まで上昇し、109.46レベルでNYへ渡った。ユーロは1.1333レベルでオープンし、欧州株の堅調さを背景に上昇。1.1341レベルでNYへ渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	週末の原油産油国会議で増産凍結の合意は無かったものの、ハルテック海運指数が2月中旬以来上昇していることから商品の需要が戻ってきているとの期待や、OPEC加盟国のクウェートでのストが3日目に入り減産に追い込まれていること等から原油相場が上昇する動きにリスク志向が強まり、クロス円が上昇する展開に、ドル円は109.49まで上昇し、109.46レベルでNYへオープン。朝方は米3月住宅着工件数が前回分が上方修正される一方、市場予想を下回ったことや、同時に発表された3月建設許可件数が予想を下回ったこともあり、109.20まで反落する。その後ドル売り優勢となったことから109.08まで下落したが、ダウが昨年7月以来の18,000ドル台となる中、円売りが継続し109.47まで戻す。午後はドル売りに109.00まで下落するが、終盤に掛けては調整からじり高で推移し、109.21レベルでクロスした。一方、ユーロは海外市場でユーロ円が上昇する動きに下値をサポートされ、1.1341レベルでNYへオープン。朝方はユーロ円が7日以上のレベルである124.43まで上伸する動きに1.1382まで上昇。午後は高値圏での推移が暫く続くが、終盤に掛けては調整からドルが買い戻される展開にじり安で推移し、1.1357レベルでクロスした。(NY 00531 113 682 井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。